































実久三次郎神社由来

今から約八百年前の永萬二年、源為朝が喜界の小野津港に上陸して、一軒屋を訪れると美しい娘が機織りをして居たので、為朝の顔を見ると「貴男は八郎殿ではないか」と話かけてきたので、朝はびっくりした。この島で自分を知っている物がある筈はないと問い返した。昨夜の夢で貴男が尋ねて来ることを知らされたと申し、それが縁となり夫婦の契りを結び一子を儲けた。為朝は喜界に居っては十分な勢力を造ることが出来ないと感じ、小野津に神社を造って喜界を離れ大島北部に上陸したと伝えられ、これが喜界の小野津神社の由来とされています。

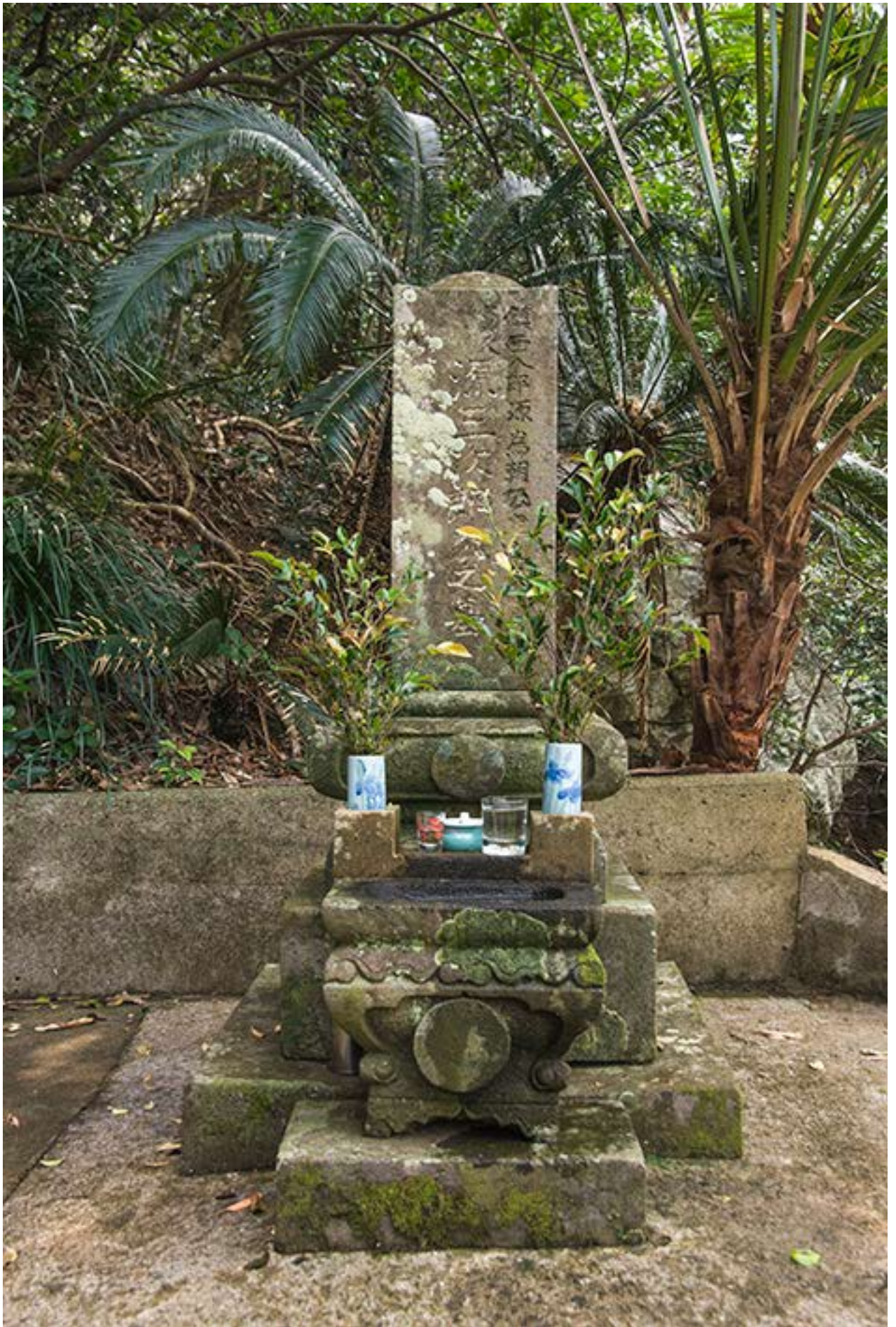
その後、為朝は本島を南下して各地に伝説を残して当地実久に来たのであります。この実久神社には、長子実久三次郎が祭られており、この加計呂麻島の旧実久村及び鎮西村の名称もこれにちなんで居るとの伝説があります。鎮西八郎為朝の子・実久三次郎が宇検の名柄八幡と力比べをした時に用いたと伝えられている石が二基、当神社に安置されているのであります。此の石に三次郎の手形、足型と言われる痕跡がありまして、実久三次郎が如何に巨人型の人であったかを物語っております。

源為朝—源頼朝
第五十六代清和天皇—源為義—
源為朝—源実久三次郎

瀬戸内町





















































運行予定時刻表

行先
時

上リ

下リ

5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

時刻表

(実久)

	船相行き	実久着
1便	6:22	8:15
2便	9:35	11:35
3便	13:15	15:15
4便	16:45	18:50

※ バス停へは時間に余裕を持ってお越し下さい。

加計呂麻バス有限公司

TEL 75-0447
FAX 75-0457

15
35
15



































































































































